



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: のどか さん からの質問  
サイってなんで鬼みたいな角があるの?

ご質問、ありがとうございます。

鬼には頭の上に角が2本ありますが、当園で飼育しているクロサイにはおでこに2本の角が生えています。他の動物とは少し違った場所に生えているこの角は一体何のためにあるのでしょうか。今回はサイの角について解説をしていきます。



動物の角は種類によって様々な構造を持っています。サイの角は中でも特徴的です。成分は、人間の髪の毛や爪と同じケラチンと呼ばれるもの。サイの角を近くで見ると、少し毛羽立っているのが分かります。



また、おでこに角がついていることや、縦に2本の配置になっていること、2本のサイズが異なることなども他の動物とは違った特徴です。角は生え変わることなく、一生伸び続けます。

では、なぜサイには角が生えているのでしょうか。それは、闘争の時に役立つから。他の角のある動物と同じように、サイも争いの時に角を使います。ただ、闘争と一言でいっても、基本的に単独行動をしている野生のクロサイがなわばり争いをする時、繁殖シーズンに複数のオスがメスを奪い合う時、メスが子どもを危険から守る時など、理由は様々です。

いざという時のため、サイは角のお手入れも欠かしません。当園でも、展示場にある岩や枝に角をこすりつけ、角研ぎをする様子が見られますよ。

